人権教育を通して育成を目指す資質・能力（参考例）

大分県教育庁佐伯教育事務所

|  |  |
| --- | --- |
| 学校の教育目標 |  |
| 人権教育の目標 |  |
| 人権教育を通して育成を目指す資質・能力 |
|  | 側面 | 側面の説明（第３次とりまとめ） | 低学年 | 中学年 | 高学年 | 中学校 |
| 人権に関する知的理解 | 知識的側面 | ○自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存、連帯性等への概念への知識○人権の発展、人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識○憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条例や法令等に関する知識○自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識○人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識　等 | ○ルールや約束の大切さが分かる。○誰とでもなかよくすることの大切さが分かる。○自分や友だちのよいところが分かる。○相手を傷つける原因や解決に向けた方法を理解する。○自分のがんばりや成長が分かる。 | ○生活の中できまりを守り、他者と協力して助け合うことの大切さが分かる。○相手を思いやった言葉かけの大切さが分かる。○生活の中の困ったことを解決するための方法が分かる。○自分自身を振り返り、今の自分のよさが分かる。○一人一人に違いがあることや、互いに支え合うことの大切さに気付く。 | ○法やきまりの意義を理解して、それらを進んで守ることの大切さが分かる。○自分の個性や立場に気付き、自分らしさが分かる。○権利や義務について知り、それらを大切にすることの意味が分かる。○他者との関わりの中で、他者の思いや願いを理解したり、自分の生き方を考えたりすることの大切さが分かる。○自分と異なる意見や立場を尊重することの大切さが分かる。○歴史的事項や現在起きている人権問題を理解する。 | ○法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、自他の権利を大切にし、義務を果たすことの大切さが分かる。○歴史的事項や現在起きている人権問題を説明できる。○人権問題の解決に向けた取組を理解する。○互いの個性を認め、相手への尊敬と幸せを願う思いが大切であることを理解する。○自分や他者の相違を認め合い、相手を多面的に理解する大切さが分かる。 |
| 人権感覚 | 価値的・態度的側面 | ○人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚○自己についての肯定的態度○自他の価値を尊重しようとする意欲や態度○多様性に対する開かれた心と肯定的評　　　価○正義、自由、平等などの実現に向かって活動しようとする意欲と態度○人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度○人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度○社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度　等 | ○自分や友だちとなかよくしようとする。○自分の考えを伝えようとする。○一人一人にそれぞれのよさがあることに気付く。○自分とは違う考えや意見を大切にしようとする。○友だちとなかよくするために行動しようとする。 | ○集団や生活の中で自分の気持ちや思いを表現しようとする。○自分や他者の思いを大切にしながら、友だちとつながり合うよさを感じようとする。○友だちの考えとつなげて自分の考えを伝えようとする。○問題の解決に向けて、友だちに寄り添いながら、行動しようとする。 | ○学習や活動に粘り強く取り組もうとする。○自分や友だちの個性やよさ、違いを認め大切にしようとする。○多様な考えを受け止め、自分の考えと比べながら伝えようとしている。○様々な人権課題について、自分にできることをしようとする。○問題の解決に向けて、多様な他者の意見や考えを受け入れ大切にしながら、ともに行動しようとする。 | ○生活の中にある人権侵害をそのままにせず、人権を大切にしようとする。○自分を見つめ、自分自身の向上や個性を伸ばそうとする。○家族や友だち等多くの人の支えによって現在の自分があることに感謝することができる。○相手の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを踏まえながら、寛容の心をもって学ぼうとする。○正義と公平さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない生活のために行動しようとする。 |
| 技能的側面 | ○人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め、受容できるための諸技能○他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性○能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能〇他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能〇人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、差別を見きわめる技能〇対立的問題を非暴力的で、双方にとってプラスとなるように解決する技能〇複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能　　等 | ○集団や友だちに対して自分の考えを発表できる。○友だちの話を最後まで聞くことができる。○友だちのよさを見つけて書いたり話したりできる。○困っている友だちに声をかけることができる。 | ○相手を思いやった言動ができる。○相手に分かるように自分の考えを伝えることができる。○思いや考えを自由に出し合える雰囲気をつくることができる。○自他のよさを見つけ、伝えることができる。○困っている友だちに声をかけて問題解決に向かう行動ができる。 | ○自他の相違を認めた支持的な言葉で話すことができる。○相手とのつながりを大切にして自分の考えを伝えることができる。○友だちの話を聞きながら支持的な反応を返すことができる。○自他のよさを多面的に見付け、進んで伝えることができる。○様々な人権課題について、自分の考えをもって行動することができる。 | ○多様な文化や立場をもった他者との関わりを尊重しながら、自分の思いを主張することができる。○多様な他者の助言や意見を受け入れ大切にすることができる。○友だちと互いに励まし合い、高めあうとともに、人間関係を構築することができる。○問題や不正を見逃さず、他者を排除しようとする主張や不正を指摘することができる。 |